

0才からの読み聞かせ絵本

絵本のゆいかご

～赤ちゃんとの豊かな時間に～

西宮市立図書館



みやたん

はじめに

これは0才からはじめる読み聞かせにおすすめする絵本のリストです。たくさんの絵本が出版されているなかで、どんな本を選んだらよいか迷ったときに、このリストをお役立てください。保護者の方が読んでみたいと思う絵本を手にとり、赤ちゃんをひざに抱いて、絵本の世界と一緒に楽しんでみませんか。

1. 言葉・音・リズム

「ごぶごぶごぼごぼ」

駒形克己／絵・文 福音館書店 1999年 800円

「ぶく ぶくぶくぶくん ぶぶぶぶぶぶ」。いろいろな音が聞こえます。何の音でしょう？鮮やかな色のまるい形。ページに空いたまるい穴。音とともに子どもの想像力をかきたてます。「さわ さわ さわ しー」。



「ころころころ」

元永定正／さく 福音館書店 1984年 900円

さまざまな色の玉が列になって「ころころころ」。階段や坂を上がったたり下がったり、風に飛ばされたり。小さな色の玉と一緒にころがっている気持ちになれます。



「じゃあじゃあびりびり」(まっぴのりこあかちゃんのほん)

まっぴのりこ／作・絵 偕成社 2001年 600円

「じどうしゃ びーびーびーびー」「いぬ わんわんわん」。では、「みず」は？「そうじき」は？親子で声を出して、擬音語を楽しめます。あなたの周りにも、音がいっぱい！



「ぼんぼんポコポコ」

長谷川義史／作・絵 金の星社 2007年 850円

これはだれのおなか？猫だ。猫がおなかをぼんぼんたたきよ。たぬき、ごりら、それから…？赤ちゃんをおひざにのせて、リズムよくおなかをぼんぼんしてみましょ。う。



2. わらべ歌・遊び

「いないいないばあ」(松谷みよ子あかちゃんの本)

松谷みよ子／ぶん 瀬川康男／え 童心社 1982年 700円

親しみやすい動物が、両手で顔をおおうと「いない いない」。ページをめくると、表情豊かな笑顔で「ばあ」。絵の動きが子どもの遊び心を、楽しませてくれます。



「おつむてんてん」

なかえよしを／さく 上野紀子／え 金の星社 1980年 780円

さっちゃんが「おつむ てんてん。おくちは あわわ」。すると、猫がまねして「おつむてんてん。おくちは ニャ ニャ ニャ」。次は犬がまねをします。赤ちゃんの手も、きっと動きだすよ。



「かおかおどんなかお」

柳原良平／作 こぐま社 1988年 800円

大きなまるに、目がふたつ。鼻と口がひとつずつ。「わらったかお」「ないたかお」「からいかお」「いたすらなかお」。単純な形と線で描かれているのに、表情豊かな絵本です。



「くっついた」

三浦太郎／作 こぐま社 2005年 800円

きんぎょさんときんぎょさんが「くっついた」。あひるさんとあひるさんが「くっついた」。おかあさんとわたしが「くっついた」。それから家族みんなでくっついて…。



「こちよぼこちよぼこ」(あかちゃんあそぼ)

中川ひろたか／文 村上康成／絵 ひかりのくに 2005年 880円

おつむ、おはな、ほっぺ、おひざ。赤ちゃんの体を「かわいい いいこ」となでたり、「こちよぼこちよぼこ」とくすぐったり。赤ちゃんとのスキンシップを楽しんでください。



「だるまさんが」

かがくいひろし／さく ブロンズ新社 2008年 850円

「どてっ」と転んで、「びろーん」と伸びて。顔も体も、表情豊かなだるまさん。言葉のリズムに合わせて、一緒に体を動かしてみましょ。だるまさんにつられて赤ちゃんも「にこっ」。



ここで紹介した絵本は、西宮市立図書館・分室で所蔵しています。
<西宮市立図書館・分室> 中央図書館 Tel:0798-33-0189 北部図書館 Tel:0797-61-1706 鳴尾図書館 Tel:0798-45-5003 北口図書館 Tel:0798-69-3151 甲東園分室 Tel:0798-54-3600 越木岩分室 Tel:0798-73-7341 段上分室 Tel:0798-53-0932 上ヶ原分室 Tel:0798-72-7388 高須分室 Tel:0798-49-1777 山口分室 Tel:078-904-3961 若竹分室 Tel:0798-67-5505

※価格は2017年11月現在の税抜き価格です。

2018.1

「ととけっこうよがあけた」(わらべうたえほん)

こぼやしえみこ／案 ましませつこ／絵 こぐま社 2005年 900円

夜が明けてお日さまがかおを出すと、元気にわとりが動物の子どもたちを起こして歩きます。「ととけっこうよがあけた まめでっぼう おきてきな」。赤ちゃんの目覚めのときに歌ってあげたいわらべうた。



「ぴょーん」(はじめてのぼうけん)

まつおかたつひで／作・絵 ポプラ社 2000年 780円

かえるが、ぴょーん。こねこが、ぴょーん。いぬが、ぴょーん。最後にわたしも、ぴょーん。いろいろな生き物の跳びはねる姿が、楽しく、迫力いっぱい描かれています。



「よこむいてにこっ」

高島純／作 絵本館 1998年 800円

ぶたがよこむいて、にこっ。そうがよこむいて、にこっ。いろいろな動物が、よこむいてにこっ笑ってる。バナナも、よこむいてにこっ笑ってるよ。動物の横顔ってこんなだったんだね。



3. 食べ物

「くだもの」

平山和子／さく 福音館書店 1983年 900円

いろんなくだものが、まるで本物のように描かれています。みずみずしくて、おいしそう。どんな味がするのかな？「さあ、どうぞ」。きつくだものが食べたくなるよ。



「にんじん」(いやだいやだの絵本)

せなけいこ／さく・え 福音館書店 1969年 700円

「にんじんの すきなこ だあれ」。うまもきりんも、さるもかばも、みんな大好き。貼り絵で描かれた動物たちが、おいしそうに食べている姿を見ると、一緒ににんじんを食べたくなります。



「りんご」

松野正子／ぶん 鎌田暢子／え 童心社 1984年 600円

りんご、りんご、りんご。りんごがいっぱい。親子でりんごを食べるまでを、楽しくほのぼのと描いた絵本。見ていると本当においしそう。もちろん最後は、ああ、おいしい。



4. 生活

「ごあいさつあそび」(あかちゃんのおそびえほん)

きむらゆういち/作 偕成社 1988年 680円

小鳥のピィちゃんがやってきて「こんにちは」。猫のミケがやってきて「こんにちは〜!」。次々に動物たちがたずねてきて、ぺこり。おじぎをすれば元気にごあいさつする、楽しいしかけ絵本です。



「こんにちは」(くまくんの絵本)

わたなべしげお/ぶん おおともやすお/え 福音館書店 1980年 800円

お花さん、こんにちは。すすめさん、猫さん、牛乳屋さん…。くまくんがおさんぼしながら、次々にごあいさつ。そして、お母さんにも、こんにちは。最後はパパにもこんにちは。



「ばいばいまたね」

さとうわきこ/作・絵 金の星社 2007年 850円

遊んだあとは、お友だちに「ばいばい またね」。ごちそうさまのあとは、コップやバナナの皮に「ばいばい またね」。うんちやお日さまにも「ばいばい またね」。一日の生活リズムを「ばいばい」で楽しくきざむ絵本。



「ぶるんぶるんおかお」(めんこいあかちゃん)

とよたかずひこ/作 アリス館 2009年 800円

りんごさん、くるまさん、あかちゃん。ぶるん ぶるん ぶるる〜んとおかおをふくと「ばあ〜」。ほら、みんないいおかおになったよ。きれいになるってきもちいいね。



5. 動物

「おかあさんどーこ？」

わかやましずこ/さく 童心社 2008年 714円

「おかあさんどーこ?」。動物の赤ちゃんが、お母さんを呼んでいないよ。おんぶ、だっこ、おひざ、お母さんのそばが、いちばん安心。赤ちゃんとのふれあいを楽しめる絵本。



「こんにちは どうぶつたち」

とだきょうこ/あん さとうあきら/しゃしん 福音館書店 1998年 800円

「こんにちはおおかみ」。あいさつをしながらいろいろな動物の顔を写真で見ることができます。ゴリラ、コアラ、チーター、動物たちってどんな顔をしているかな?



「たまごのあかちゃん」

かんざわとしこ/ぶん やぎゅうげんいちろう/え 福音館書店 1993年 900円

「たまごのなかに、かくれんぼしているあかちゃんはだあれ?」さあ、あててみよう。どんな赤ちゃんがでてくるかな。どんな声でなっているかな。それが分かったら、次はたまごの大きさや数に注目してみよう。



「てんてんてん」

わかやましずこ/さく 福音館書店 1998年 800円

晴れた日は赤ちゃんを外に出してみましよう。小さな生き物に会えるかな。てんてんてんはてんとうむし。ちょうちょはひらひらひら。外で出会った生き物たちを絵本の中で見つけたら、きっと赤ちゃんは嬉しい気持ちになりますよ。



「どうぶつのおやこ」

藪内正幸/画 福音館書店 1966年 800円

写実的に描かれた、猫、うさぎ、さるなどの動物。まるで本物に出会ったような気分させてくれます。字のない絵本なのに、動物の親子の語り合いが聞こえてくるようです。



「もうおきるかな?」

まつのまさこ/ぶん やぶうちまさゆき/え 福音館書店 1998年 800円

猫の親子、よくねているね。もうおきるかな?うーんと背中をのばして、あー、おきた!犬やりす、くまにぞうも。動物たちの寝ている様子と、おきる姿がほほえましい。つられてあくびの出そうな絵本です。



6. 乗り物

「あっ!」

中川ひろたか/ぶん 柳原良平/え 金の星社 2008年 850円

ぼくが「あっ」と見つけたのは、車。運転手になってぶっぶー!次に「あっ」と見つけたのは、電車。運転手になってごごごごー!「あっ」船に飛行機!乗り物たくさん見つけたよ。



「がたんごとんがたんごとん」

安西水丸/作 福音館書店 1987年 800円

みんなが大好きな汽車に、ほ乳瓶やコップやスプーンが「のせてくださーい」と声をかけます。さて、どこまで行くのかな?読んでみると、なんだか汽車になった気分!?



「ぶーぶーぶー」

こかぜさち/文 わきさかかつじ/絵 福音館書店 2007年 800円

ぶーぶーぶー。ぱっぱっぱっ。元気に走る赤や青の自動車たち。ぶわーん!そこへ、大きなトラックがやってきて…。にぎやかな音と、はっきりした色が楽しい乗り物絵本。



7. おはなし

「おつきさまこんばんは」(くつつあるけのほん)

林明子/作 福音館書店 1986年 800円

夜、家の屋根には猫が2匹。屋根の上が明るくなった。少しずつ顔を出す、まんまるなお月さま。夜空に、ぼっかりうかぶお月さまの表情が、印象に残ります。



「しろくまちゃんのほっとけーき」

わかやまけん/作 こぐま社 1972年 800円

「わたし ほっとけーき つくるのよ」と、しろくまちゃん。お母さんとまぜたり、焼いたり。まるで一緒に作っているようで、ほかほかのホットケーキを、みんなで食べたいよ。



「すりすりももんちゃん」(ももんちゃんあそぼう)

とよたかずひこ/作・絵 童心社 2002年 800円

ひよこさん、きんぎょさんと次々にやってきて、ももんちゃんのほっぺにすりすり。ももんちゃんいーいにおい。でも、さぼてんさんがすりすりすると…?最後はやっぱりおかあさんと。「ももんちゃん」シリーズの一冊です。



「ちいさなうさこちゃん」

ディック・ブルーナ/ぶん・え いしいももこ/やく 福音館書店 1964年 700円

ふわふわさんとふわおくさんに、かわいい赤ちゃんが生まれました。名前がうさこちゃん。一お母さんにも懐かしい「うさこちゃん」シリーズ。やさしい語り口で親しみやすいお話です。



共に学び・考え・行動する消費者市民社会の実現をめざして

西宮市では、
自分で考え、行動できる消費者の
育成を目指し、消費者教育を推進します。

●契約は慎重に!! おかしいと思ったら、ご相談ください●

西宮市消費生活センター【相談専用】TEL 0798-64-0999
または 消費者ホットライン 188 (いやや)

子ども安全メール from 消費者庁
子どもの事故に関する情報や豆知識をあなたの携帯電話に配信します!

登録はコチラ→
消費者庁携帯サイト
QRコード